

やすらぎ短信

平成30年
11月号

七五三参り

七五三参りは、子どもの年祝いをする古くからの風習で、大人へと成長していくための通過儀礼として行われてきました。これまでの成長に感謝し、今後も健やかに成育するように神様にお祈りしましょう。



◆七五三参りの由来について

・三歳（男子・女子）

髪置（かみおき）の儀式。

頭髪を伸ばしはじめる。

・五歳（男子）

袴着（はかまぎ）の儀式。

初めて袴を着用する。

・七歳（女子）

帯解（おびとき）の儀式。

着物の帯を使い始める。

◆いつお参りするの？

本来は、十一月十五日にお祝いの儀式を行うのが一般的ですが、浦幌神社では十二月まで受け付けております。

◆子どもの服装は？

子どもの服装は、特に決まりはございません。着物・スーツ・ジャケット・カーディガン・ドレス・ワンピースなど様々です。晴れの日ですので、少しよそいきの格好でご参拝下さい。

◆親の服装は？

親の服装について特に決まりはございませんが、清楚な格好でご参拝されるとよいでしょう。

◆千歳飴の意味は？

千歳飴は、細く長い形状の紅白の飴で、飴の袋も「鶴亀」や「松竹梅」などの絵柄になっております。昔は子供の生存率が低かったため、「健康」と「長寿」への願いが込められた縁起物として七五三参りに授与されるようになりました。

浦幌神社七五三参りのご案内



平成三十年の該当者（数え年）

男の子 平成二十八年生 三歳

平成二十六年生 五歳

女の子 平成二十八年生 三歳

平成二十四年生 七歳

※満年齢でも可

日 時 十一月十一日（日）

十一月十五日（木）

午前十一時・午後二時

●この日以外もご予約にてご奉仕致します。（十二月まで）

●ご祈願を受けられた方には、お守り・玩具・千歳飴を授与致します。

●玉串料三千円よりお気持ち

（電話）〇一五―五七六一―四四八

宮司の一筆

新嘗祭（にいなめさい）

来る十一月二十三日、宮中で新嘗祭が斎行される。新嘗祭は、その年の新穀を天皇が神に捧げ、御親らもこれを食され、国家の安寧を祈念される最も重要な祭儀で、千四百年以上も前から続いている。来年には御代がわりを迎えることから、今年が平成最後の新嘗祭となる。来年の五月一日には皇太子殿下が即位され、十一月十四日～十五日には、御即位後初めての新嘗祭となる大嘗祭（だいじょうさい）が行われる。この大嘗祭は毎年の新嘗祭とは異なり、一世に一度の重要な祭儀とされ、古代さながらの黒木作りの御殿「大嘗宮」を建てて厳粛に行われる。当社においても毎年、新嘗祭当日には、地元の収穫物をお供えし、収穫勤労感謝祭を斎行している。今年が平成の御代を締めくくる大事な収穫祭となる。氏子崇敬者と共に深い祈りを捧げ、新しい御代へその祈りを繋いでいきたいと思う。

新年のお神札

初穂料改定について

毎年、年末に各ご家庭へ頒布しております神棚の「お札」でございますが、本年より初穂料を改定致すこととなりました。当社では、二十五年以上、初穂料を改定しないまま現在に至っておりますが、物価の上昇や消費税率の引き上げ、神社本庁への負担金の増額等々、従来の神社の護持運営が年々厳しい状況となつております。今後の諸祭事や諸行事が従来どおり斎行できますように、先記の通り改定させて頂く運びとなりましたので、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

改定日 平成三十年十一月一日

初穂料 二五〇〇円 ↓ 三〇〇〇円

以上宜しくお願い致します。

神社でお茶育講座

去る十月十四

日、うらほろ和

ごころ体験塾主

催のおの茶育講

座が当社で開催

され、茶育指導

士の家常和先生のご指導のもと約四十

名が煎茶の文化や美味しいお茶の淹れ

方について学びました。



浦幌神社行事予定

- 十一月一日 月次祭
- 十一月十一日 七五三参り
- 十一月十五日 月次祭
- 十一月十五日 七五三参り
- 十一月十八日 鳥獣魂慰霊祭
- 十一月二十三日 新嘗祭並びに 収穫勤労感謝祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八